

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : スプリンクラーエース用消火薬剤 (第3種浸潤剤等入り水)
整理番号 : WA-SPA-003(5)
会社名 : 日本ドライケミカル株式会社
住所 : 〒114-0014 東京都北区田端 6-1-1 田端 ASUKA タワー
担当部門 : 技術部 (TEL:03-5815-5025 Fax:03-3822-9770)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康有害性	皮膚腐食性/刺激性	区分 3
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 2B

上記以外の項目については、分類できない、又は分類対象外

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル

: なし

注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 皮膚刺激

眼刺激

呼吸器の刺激

注意書き :

予防策

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
必要に応じて個人用保護具を使用すること。
この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取り扱い後はよく手を洗うこと。

対応

気分が悪いときは、医師に連絡すること。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
取り扱った後、手を洗うこと。

保管

密閉した容器で使用温度範囲内にて保管すること。

廃棄

内容物/容器等は、関係法令に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分:混合物

化学名または一般名	含有量(%)	化学式	官報公示番号	CAS No.
第一リン酸アンモニウム	8~12	$\text{NH}_4\text{H}_2\text{PO}_4$	1-379	7722-76-1
第二リン酸アンモニウム	25~35	$(\text{NH}_4)_2\text{HPO}_4$	1-379	7783-28-0
水	残り	H_2O	—	7732-18-5

4. 応急措置

- 吸入した場合 :被災者を直ちに新鮮な空気のある場所へ移動させ、安静にする。
必要に応じて医師の診察を受ける。
- 皮膚に付着した場合 :直ちに多量の水で洗い流し、痛み等の症状が出た場合、必要に応じて医師の診察を受ける。
- 眼に入った場合 :直ちに被災者のまぶたを開いて清浄な水で15分以上洗浄する。
必要に応じて医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 :意識がある場合、水で良く口の中を洗浄し水を大量に飲ませ医師の診断を受ける。
意識がない場合、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

該当しない(本製品は消火剤である)。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 :作業の際にはゴム手袋、保護眼鏡、保護服等を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり吸入したりしないようにする。
- 環境に対する注意事項 :飛散拡大防止措置を図り、回収する。また、薬剤及び洗浄に使用した水が、下水/河川等に流出し、環境への影響を起さないようにする。
- 除去方法 :回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。
薬剤が附着した箇所は流水で良く洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策及び注意事項 :取り扱いは換気のよい場所で行う。
屋外での取扱いは、できるだけ風上から作業する。
取扱いの都度、容器を密閉する。
粉塵を吸入したり、眼に入らないようにする。
保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。
取り扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。

保管

- 保管条件 :雨水、直射日光があたらないように保管する。
通気のよい場所で容器を密閉し保管する。
使用温度範囲内の場所に保管する。

安全な容器保管材料 : 該当する薬剤容器(ポリ容器および充填容器)が望ましい。

8. ばく露防止及び保護措置

- 保護具 呼吸器の保護具 :呼吸器保護具(マスク)
- 手の保護具 :保護手袋(ゴム、ビニール等の材質のもの)
- 眼の保護具 :保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 :保護服、保護長靴、保護前掛け

9. 物理的及び化学的性質

- 外観 :無色透明 液体
- pH :7(20°C)
- 凝固点 : -7.5°C
- 比重 :1.24(20°C)

10. 安定性及び反応性

安定性	:常温で安定
反応性	:なし
避けるべき条件	:使用温度範囲外(<0,40℃<)
危険有害分解生成物	:知見なし

11. 有害性情報

吸入した場合、粘膜の炎症を引き起こすことがある。
皮膚に触れた場合、痛み、水ぶくれを生じることがある。
眼に入った場合、炎症、痛みを引き起こすことがある。

12. 環境影響情報

生態毒性 魚毒性	水生毒性(急性)	:データなし
	水生毒性(慢性)	:データなし
残留性/分解性		:データなし
生態蓄積性		:データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 :排水口中に空けてはならない。
汚染容器・包装 :「廃棄物の処理及び清掃に関する法」等の地域条例を含む関連諸法令に従って行つか、又は許可を受けた廃棄物処理業者に委託して処理する。環境汚染防止のために、下水や河川への廃棄や排出は絶対に行わない。

14. 輸送上の注意

国内規制 :適用法令なし
輸送の特定の安全対策及び条件 :輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
容器が密栓されていることを確認する。

15. 適用法令

自治省令第28号(昭和39年9月17日)自治省令第7号(昭和62年3月18日)
「消火器用消火薬剤の技術上の規格を定める省令」

化審法	:非該当
労働安全衛生法	:非該当
化学物質管理促進法	:非該当

16. その他の情報

本安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。また、当社はSDS記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保障するものではありません。